

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 標茶町立中茶安別小中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒088-2322
北海道川上郡標茶町字中チャンベツ原野基線35番地2

E-mail : office-nac@shibechea.ed.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 9 名 女子 17 名 合計 26 名
 児童・生徒の年齢 7 歳～ 15 歳

2. 担当者 ※公表しません

職名：教頭

氏名：須藤 光秋 (男・女)

E-mail：office-nac@shibechea.ed.jp

※学校の共用メールアドレスをご記入ください。共用メールアドレスがない場合、個人メールアドレスでも可。

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()


4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容

日程(曜)	対象学年	人数	実施場所	外部講師	
5月14日(火)	小学校3・4年生	児童 11人	学校裏の沢	北海道立厚岸少年自然の家職員1名	
		指導者 3人			
	実 施 内 容				
	わくわく自然体験第1ステージ「春の山野草観察しよう！食べてみよう！」 ●学校裏の沢に生える春の山野草を調べる。植物図鑑、デジカメをもって学校裏の沢に出かけた。 ●山野草には食べられるものと食べられないものがあることに気付く。 ●食べられる春の山野草を採って、天ぷらにして試食した。 ●学校林春の植物図鑑などにまとめた。				
					
日程(曜)	対象学年	人数	実施場所	外部講師	
5月22日(水)	小1～中3年生	児童生徒 26人	学校林	林野庁北海道森林管理局釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター職員6名	
		大人 10人			
	実 施 内 容				
	春の学校林活動 ●「実のなる木」の冬囲いはずし作業 ●小1～小4は、ネイチャーゲームや森林の働きについて学んだ。 ●小5～中学生は、測樹方法を学んだ。				
					
日程(曜)	対象学年	人数	実施場所	外部講師	
7月17日(水)	小学校3・4年生	児童 11人	学校林	なし	
		指導者 3人			
	実 施 内 容				
	わくわく自然体験第2ステージ①「学校林の池に住む小動物を捕獲しよう！」 ●ペットボトルのわなを作る。(事前活動: 図工) ●池に住む小動物について知る。 ●学校林の池で小動物が潜んでいそうな場所を見つけてわなをしかける。 ●わなをしかけた場所の理由についてみんなで交流し合った。				
					
日程(曜)	対象学年	人数	実施場所	外部講師	
7月22日(月)	小学校3・4年生	児童 11人	学校林	なし	
		指導者 3人			
	実 施 内 容				
	わくわく自然体験第2ステージ②「学校林の池に住む小動物を観察しよう！」 ●わなを引き上げる。 ●小動物を観察し、デジカメで撮影するなど行った。 ●学校林水辺の生き物図鑑を作った。				
					

日程(曜)	対象学年	人数	実施場所	外部講師
8月22日(木)	小1～中3年生	児童生徒 26人	学校林	林野庁北海道森林管理局釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター職員2名、環境コンサルタント2名
		指導者 11人		
	実 施 内 容			
夏の学校林活動				
●学校林の池や川の簡単な水質分析(バックテスト等)を行った。				
●調査結果の発表や感想を述べ合った。				
●水の中には目に見えない要素があることや、水の循環について学んだ。				
				
日程(曜)	対象学年	人数	実施場所	外部講師
9月11日(水)	小学校3・4年生	児 童 11人	学校林	なし
		指導者 3人		
	実 施 内 容			
わくわく自然体験第3ステージ「学校林の森オリジナルBOXづくりをしよう！」				
●学校林を散策し、オリジナルBOXの材料を集めた。				
●集めた材料について、みんなで交流し合う。				
●オリジナルBOXを制作する。				
				
日程(曜)	対象学年	人数	実施場所	外部講師
9月13日(金)	中学1～3年生	生 徒 3人	西別岳	北海道立厚岸少年自然の家職員1名
		指導者 4人		
	実 施 内 容			
標茶町の山(西別岳)に登ろう				
●自然について考えながら登山を行った。				
●下山後、考えたことについて交流した。				
				
日程(曜)	対象学年	人数	実施場所	外部講師
9月19日(木)	小学校3・4年生	児 童 11人	学校林	知床山考舎 滝澤大徳氏(ツリーイングインストラクター)
		指導者 4人		
	実 施 内 容			
わくわく自然体験第4ステージ「学校林の木に登ろう！」				
●安全で楽しい木登り(ツリーイング)を体験した。				
●木と人とのかかわりについて学んだ。				
●感じたことを発表し、自然とのつながりについて考えた。				
				

日程(曜)	対象学年	人数	実施場所	外部講師
10月3日(木)	中学1～3年生	生徒 4人	学校林 別寒辺牛川	北海道立厚岸少年自然の家職員2名
		指導者 5人		
	実 施 内 容			
水源地から海へ ●別寒辺牛川をカヌーで下った。 ●森と水の関係性、森林と人々の生活、地球規模での環境を考えた。 ●下り終わった後、考えたことについて交流し自分の生き方を考えた。				
				
10月4日(金)	小学校3・4年生	児童 11人	学校林	北海道立厚岸少年自然の家職員1名
		指導者 3人		
	実 施 内 容			
わくわく自然体験第5ステージ「秋の森の宝物を見つけよう！」 ●秋の森の宝物をイメージし、落ち葉の色探しを行った。 ●集めた落ち葉を使って、落ち葉アートに挑戦した。 ●秋を題材としたポエムをつくり、自然とのつながりを感じた。				
				
10月30日(水)	小1～中3年生	児童生徒 26人	学校林	林野庁北海道森林管理局釧路湿原環境保全 ふれあいセンター職員6名
		指導者 14人		
	実 施 内 容			
秋の学校林活動 ●「実のなる木」の冬囲い作業や巣箱清掃を行った。 ●全校を4グループに分け、学校林クイズウォークを行った。 ●活動をふり返り、感想を交流し、自然への愛着を深めた。				
				
2月12日(水)	小学校3・4年生	児童 11人	学校林	野外教育研究会プログラムディレクター2名
		指導者 4人		
	実 施 内 容			
わくわく自然体験第6ステージ「冬の学校林でアニマルトレッキング」 ●スノーシューを履いて冬の森を探索した。 ●どんな動物の足跡か調べ、足跡を追いかけて動物の気持ちになって考えた。 ●感じたことを発表し、自然とのつながりについて考えた。				
				

<p><その他></p>	<p><input type="checkbox"/> 地域の方から指導を受け、学校林のベンチを製作しました。 秋の学校林活動の時に、全校児童生徒にお披露目し、喜んでもらいました。</p>
	
<p><input type="checkbox"/> 学校林散策路コースの看板(児童の卒業作品)の製作を行いました。 また、国道沿いに設置する学校林入口の看板の製作も行いました。</p>	
	
<p><input type="checkbox"/> 1年間の学校林活動のまとめとして、総合学習発表会を開催しました。 保護者の方も多数参加し、学校林を活用した森林環境教育活動への理解を深めることができました。</p>	
	

(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他 ()

活動の内容を補完する以下の資料があれば添付願います。※公表しません

- 紙媒体の参考資料 (新聞、出版物など) CD-ROM 写真
- その他 ()